

申し込み教室 1 馬場教室 2 佐佐木教室 3 高野教室 4 岡井教室 5 「草木」教室 6 今野教室 7 はじめての短歌

(必ず楷書で。申し込み教室名、男女別、かな遣いの新旧別は○で囲んで下さい)

職業
会社員
かな遣い
新・ <u>旧</u>

講師講評欄	評価 △ ○ ◎
<p>「風便り」、詩的な言葉ですね。ただ、その位置を考えましょう。また「見つけり」の「リ」は文語の完了の助動詞ですが、接続に癖があり「見つけり」も誤用ということになります。具体的には、完了の助動詞「リ」は、四段活用とサ変の動詞のみに接続します。それを含めて文体を整理したいですね。大切な言葉(勝負所)は、できれば後半に。</p>	<p>△ ○ ◎</p> <p>風便^{ふがな}り。カバン覗けばひとひらの黄金に光る銀杏見つけり。</p> <p><一首の背景> 銀杏並木の道を歩いて、家に帰ってカバンをけると、銀杏の葉が入っていた。</p>

講師講評欄	評価 △ ○ ◎
<p>都市のメルヘンですね。「知恵の輪」の比喩、秀逸です。見上げるイメージは結句に出るので、初句をまず考えたいですね。また「首都高」はできれば省略せずに丁寧に言いたいところですね。<首都高道路のくねる知恵の輪の覗き穴から月を眺むる>。とても良くなります。</p>	<p>△ ○ ◎</p> <p>見上げれば知恵の輪のよな首都高の覗き穴から月を眺むる。</p> <p><一首の背景> 首都高道路のくねる知恵の輪の覗き穴から月を眺むる。</p>

講師講評欄	評価 △ ○ ◎
<p>これも発想、着眼は秀逸です。ただ「うろこ雲」と「君のおしやべり」と、両方ともやや中途半端になった点が惜しまれます。「静止画」をぜひ入れたいですね。ここが一番良いところなので。<助手席のサイドミラーにうろこ雲静止画像のやうに映れる>。すごい歌になります。</p>	<p>△ ○ ◎</p> <p>べり小気味良く流れ</p> <p><一首の背景> 車中から見えるサイドミラーに静止画のように見えるうろこ雲。それをいっしょに見ている横で、BGMのように絶えまなくおしゃべりが聞こえる。</p>

総評
<p>一首目。<帰宅して鞆開けばひとひらの秋の黄金の風便りあり>等々。説明し過ぎず、ミステリアスに、イメージを豊かに。二首目。着眼、イメージ、良いです。三首目。そしてもう一首。<秋の雲サイドミラーに動かざり君のお喋り心地よく続く>。</p>

記入方法は裏面をご覧ください
添削結果について

《評価の記号》 良い作品の順に「◎」「○」「△」「無印」
《添削記号》 。 。 。 。 〃 良い表現 〃 欠点

※注 返送の際の宛先となる住所、氏名欄が裏面にありますので、必ずご記入願います。